



# 第二中学校だより

新座市立第二中学校  
新座市野火止 7-17-10  
電話 048-477-1212

「明るい挨拶 光る汗 きれいな学校 きれいな心」

<http://www.c-niiza.ed.jp/j-daini/>

## 人生を変える力

校長 伊藤 進

4月の保護者会、PTA定期総会など、多数の保護者の皆様に御来校いただき感謝申し上げます。また、保護者会では、今年度のPTA役員等の選出をしていただき重ねてお礼申し上げます。平成30年度が始まって1ヶ月が経ち、1年生も中学校生活に少しずつ慣れてきたころだと思います。

朝、校門付近に立っていると子供たちが「おはようございます」と心のこもったあいさつをしてくれます。今日、インターネットを活用すれば誰とも言葉を交わすことなく、好きな物を買うことができます。高度情報社会では、あいさつを通して人とふれあわなくても、取り立てて声に出して何かを言わなくても、日々の生活に困ることは少なくなりました。しかし、「おはよう」と声をかけられ「おはよう」と笑顔で応えることの爽快さは何にも増して素晴らしいものです。

本校では、校内にある通路を「あいさつロード」としています。また、5年前に生徒会が考えたあいさつ運動のスローガン「あいさつと緑があふれ、心つながる新座二中」ののぼり旗を設置して、地域の方のご協力を得て「あいさつ運動」を実践しています。あいさつ（挨拶）の「挨」という漢字には「心を開く」、「拶」には「近づく」という意味があるそうです。私は、「あいさつ（挨拶）」は、相手に対して心を開くこと。相手に対しての思いやりだと思います。あいさつを交わすことによりコミュニケーションが深まり、より良い人間関係を築くことが出来るようになるの

です。たった一言ながら、その人の人生を変えてしまう力があります。どんなに会話が苦手な人でも、心掛けひとつで新しい世界が広がります。

中学校は大人になるための基礎を育むところ。あいさつの習慣は大人になってから身につけるのは難しいです。あいさつが形だけのもの、口先だけのものにならないように、その意義を考え、本当の意味でのあいさつが出来るようになりたいものです。

平成33年度から全面実施（30～32年度は移行期間）される中学校学習指導要領では、「知識の理解の質を高め資質・能力を育む『主体的・対話的で深い学び』に向けた授業改善」を規定しています。子供同士の協働、対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が求められます。これらの活動の原点にはあい



さつがある  
と私は思います。また、言葉は表現する人の人格を表します。人格を疑われるような乱暴な言葉、相手を傷つける言葉を使うことは、人間として恥ずかしいことです。美しい言葉で、思いやりのある言葉を通して、豊かな心を育むよう取り組んでいきます。